

## 熊本地震被災者支援の現状と課題 NGO / NPOの支援活動から考える

今年4月に発生した熊本地方を震源とする地震は、死者49人(この他、震災関連死が20人)、重傷者347人といった人的被害に加え、住宅も8000件近くが全壊するなど、熊本・大分両県を中心に大きな被害をもたらしています。発生から2か月以上が経過し、余震も収まりつつあるものの、6月に入ってから16日までに震度4以上の地震が2回発生。6月16日現在、避難所生活を強いられている人々も6200人を超えています。地震発生直後の救援や支援の活動もままならなかにあって、関西も含め、全国からNPOやNGOなども現地に入り、情報収集や支援活動を展開してきました。こうしたNPOやNGOの関係者から現地の状況をうかがうとともに、どのような支援活動が行われ、また今後必要とされていくのか、そして関西で暮らす私たちがどのように関わっていくことができるのか考えるために、以下のようなプログラムを企画しました。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお越し下さい。なお、このシンポジウムは、大阪市立大学大学院創造都市研究科都市共生社会研究分野の入試広報の一環として実施するため、プログラム終了後、簡単な入試説明会を行わせていただきます。

★日時 2016年7月11日(月)  
午後6時30分から9時

★場所 大阪市立大学  
梅田サテライト101教室  
大阪駅前第2ビル6階  
JR北新地駅真上

★講師 栗田 暢之 さん  
NPO法人レスキューストックヤード 代表理事  
秋田 正人 さん  
(公財)大阪YMCA 企画開発室 室長

★司会 柏木 宏  
大阪市立大学大学院 教授

★参加 無料

★予約 不要



### 都市共生社会研究分野とは？

2003年4月に、大阪梅田で開設された社会人向けの大学院、大阪市立大学大学院創造都市研究科の一分野です。NPOをツールに共生社会作りを目指す人材を育成することをミッションに掲げ、民族やジェンダー、障害、セクシュアリティなど、共生社会に関する様々な課題と、それらに解決に向けたNPOのマネジメントを含め、実践的な教育研究活動を展開しています。

### お問い合わせ

NPOをツールに共生社会の実現に向けて活動する人材の育成をめざす社会人大学院……

大阪市立大学大学院都市共生社会研究分野

URL: <http://www.co-existing.com>, E-mail: [info@co-exisitng.com](mailto:info@co-exisitng.com)